わが社の経営理念 VOL.202 山田 健太郎（西はりま支部）

株式会社山田林業

一、日本で唯一の資源である木材を生産し、山を豊かにする事で国土を守ります。

①長年放置された山へ整備に入り、山の資産価値を高めます。
②地表の植生を豊かにし土砂の流出を防ぎ、下流の防災に貢献します。
③独自の間伐技術を追求し木々の生育を良くします。

一、義を明らかにして利を計らず。繁栄・安定・継続の経営を目指します。

①目先の利益を考えず、立木を成長させてからの利益を考えます。
②山林所有者と製材所の利益のバランスを保ち、信頼される事業体を目指します。
③常に新しい仕事と技術にチャレンジし、活気ある職場をつくります。

一、社員が安心して家族と生活し、職場を誇れる経営を目指します。

①社員の子らが就学を終えるまで、安心して子育て出来るようにします。
②安全優先、環境優先で現場仕事を推進します。
③職場環境を改善し、体力的、精神的負担の軽減に努めます。

社　　名：株式会社山田林業
住　　所：姫路市北平野1丁目12番11号
氏　　名：山田 健太郎
所　　属：西はりま支部
同友会入会：2021年4月

■事業内容及び会社の沿革

・間伐、主伐（皆伐）、植樹や、それに伴う作業路整備などの山林管理
・山林管理のための現況調査、施業計画、路網計画
・Jクレジットの獲得、販売
・開発工事現場における伐採除去作業
・山林買取　・丸太の販売
・木質バイオマス燃料の生産および販売　・薪材の販売

■経営理念（経営指針）の成文化について

いつ頃・どのようなきっかけ（勉強方法や経緯）で作成しましたか

大枠は5～6年前に現社長が作成し、その後同友会の成分化セミナーでブラッシュアップしました。

その中での出来事について（社内での出来事・社員の変化など）

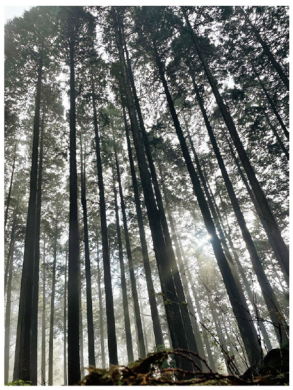
経営理念があることで社内での山への向き合い方（木を伐る量や道のつけ方）が明確になり、それぞれの林業感ではなく同じ価値観で、各山に対して施業を行うことができている。

また、現代だけでなく次世代に続く林業を経営するという点が顧客に伝わり、評価頂いている部分もあります。

■経営理念について

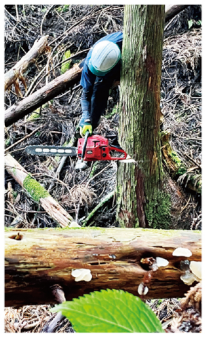
経営理念への想い

まず山の木を切るうえで、次の世代へ繋ぐことや乱獲をしないということは非常に重要です。



目の前の小銭を拾いたくなった時や、山への思いやりを忘れそうになった時に経営理念は次世代へ繋ぐという点に関して非常に重要なツールだと考えています。さらに林業業界は斜陽産業かつ就業労働人口が減少傾向にあります。その中で会社を経営するということは利益を出すということだけではなく、手前味噌ですが自分たちがマーケットに与える影響が小さくないという認識を持った上で社会や顧客に対して貢献していく指標でもあると考えております。

■これからの夢・抱負

従来の山林を手入れし木材を搬出するというビジネスモデルだけでなく、林業界の中で山のためにできることを余すところなく活用し、例えば電源を持つことやCO_2の吸収を行うといった事業を展開し多角的な経営を行っていきたいと考えております。

また現状継承前ですが、自分だけでなく次世代に繋げられるような林業を行っていきます。